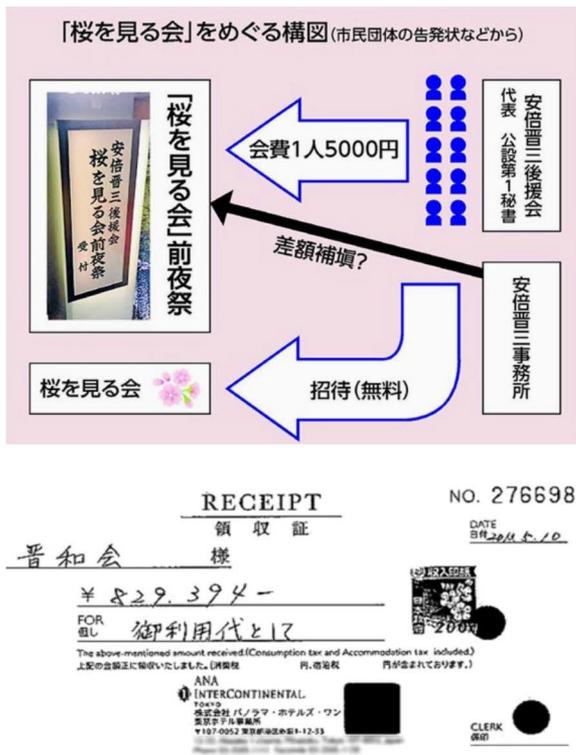


「桜を見る会」前夜祭で安倍事務所が経費補填

安倍前首相後援会主催「桜を見る会」前夜祭で経費の補填が発覚。前首相は説明から逃げ、官房長官として支え続けた菅義偉首相も国会での答弁を拒否。前夜祭とは、そもそもどんな問題なのでしょうか。

前夜祭が始まったのは安倍 13年。首相主催の公的行事前首相が復帰した翌年の20 「桜を見る会」の前夜に毎年



開催されてきました。会費は1人5000円。安倍前首相を刑事告発した法律家の告発状によると、このホテルを利用した場合、通常の料金は1人約1万1000円とされています。問題になっている疑惑は、この差額を安倍前首相側が補填(ほてん)したのではないかというものです。

公的行事に支援者招待し「私物化」

安倍事務所は、2019年の「桜を見る会」に参加する地元支援者らに旅行日程を配布しています。「しんぶん赤旗」日曜版が入手した「安倍事務所ツアー案」とした文書には、スケジュールが細かく書かれています。

前夜祭に補填なら公職選挙法違反

これによると同年4月12日朝に山口宇部空港を出発。その後、都内を3コースに分かれて観光。午後7時からホテルニューオータニで「前夜祭」が開かれるとされています。翌日は朝から新宿御苑に向かい「桜を見る会」に参加し、首相夫妻と記念撮影するとあります。

「赤旗スクープはこうして生まれた」 「桜を見る会」疑惑ー編集長による講演会開催

日本共産党が発行している「しんぶん赤旗」日曜版の山本豊彦編集長による講演会「赤旗スクープはこうして生まれた」が開かれました。総理大臣主催「桜を見る会」疑惑のスクープが、日本ジャーナリスト会議の最高賞を受賞したことについて山本編集長は、「他紙の記者は総理主催なのだから後援会員を連れてきて当たり前と考えたが、赤旗は、総理大臣による私物化という視点で取材をしていった」と強調。

前原西支部が道路改善要請



葛南土木事務所に道路改善を要請する日本共産党前原西支部の参加者。11月19日・土木事務所

船橋市前原西地域で活動している日本共産党前原西支部が11月19日、千葉県葛南土木事務所を訪問して、道路の改善を要請しました。

支部では今年の5月に2日間かけて、国道296号線と県道津田沼停車場線を歩いて調査しました。その結果、段差があったり、側溝の蓋が壊れていて靴のかかどが刺さってしまったりするようなどころがかなり見受けられました。

この日の要請では、その結果を地図に記載し、写真を添えて事務所に提出。参加したそれぞれが危険な現地の様子を伝えました。事務所職員は、「県が管理している道路について、こうした状況を知ることが出来て感謝している。指摘があったところは、事務所として調査し、改善策を検討する」と話しました。



山本豊彦「しんぶん赤旗」日曜版編集長の話に聞き入る参加者。11月21日・船橋市内

「桜を見る会」は首相主催の公的行事で、ここに支援者を招待し、前夜祭の会費を補填したという二重に支持者を優遇した疑惑です。

前夜祭の補填は、安倍前首相に報告されていなかったとされる報道もあります。長年にわたり仕えてきた側近秘書から本当に何も伝えられていなかったのか。安倍前首相の説明責任が問われています。

また、赤旗日曜版には著名な方々も登場し、芸能人の会見などでも真面目な質問をするので歓迎されていることも紹介されました。

講演にたいして参加者から「みんなに読んでもらえるための努力は」「くらしに役立つ記事の書き方」「クイズは誰が作っているのか」などの質問が出され、一つ一つ丁寧な回答がありました。

そのなかで「毎週5000通の便りが寄せられ、そこに書かれた要望にも応えている」との話には、「ほー」と感嘆の声が上がりました。